

令和5年度 第3回 学校運営協議会 議事録

校名	府立思斉支援学校
校長名	井上 昌二

開催日時	令和6年2月16日(金) 10:30～11:20
開催場所	府立思斉支援学校 3階 学習室
出席者(委員)	赤坂会長(今市中学校校長)、栗山副会長(太子橋小学校校長)、川島氏(豊里学園副園長)※山中委員の代理、三木委員(旭区障がい者基幹相談支援センター管理者)
出席者(学校)	井上校長、上野事務長、紙野教頭、末吉教頭、村上首席、大場首席、酒井首席 正木部主事、水江部主事、瀧野部主事
傍聴者	0名
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度 学校経営計画及び学校評価(達成状況) ・令和6年度 学校経営計画(めざす学校像及び中期的目標について) ・学校教育自己診断集計結果、結果分析 ・レインボープロジェクト成果報告について

議題等(次第順)
<p>1 校長あいさつ</p> <p>2 (1)令和5年度 学校経営計画 達成状況について</p> <p style="padding-left: 20px;">(2)令和6年度 学校経営計画 めざす学校像及び中期的目標について</p> <p style="padding-left: 20px;">(3)令和5年度 学校教育自己診断結果と分析について</p> <p style="padding-left: 20px;">(4)令和5年度 レインボープロジェクト成果報告について</p> <p>3 事務連絡</p>
協議内容・承認事項等(意見の概要)
<p>(1)令和5年度学校経営計画について(達成状況報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆安心安全な学校生活を送る体制をつくる。 ・個人情報文書の誤配付が2件あったため(×)と評価した。 ・ヒヤリハット14件から29件に増加した。 ・大規模災害時の保護者引き渡し訓練を11月に実施した。 ・アレルギー研修を4月に学校医を講師として招き実施した。 ・大谷大の五位塚助教授の助言を受けて、相談室の運営方法の改善を行った。 ・働き方改革の観点から、定時退庁日の設定や職員会議の書面開催などを進めた。また、職員室のデジタルサイネージを活用し、様々な情報を発信した。教職員にサイネージを見る習慣がついている。 ◆障がいの多様化に応じた教育活動の展開ができるよう教職員の資質向上を図る。 ・法定研修対象者21名が研究授業、研究協議会を行った。 ・外部研修に行った教員によるオンデマンド伝達講習を行った。

◆小学部中学部高等部の継続性のある系統的なキャリア教育を実践する。

- ・学部間の授業交流が、1件から7件に増えた。
- ・高等部の進路指導の講話を、小中の教員に行った。

◆特別支援教育のセンター的機能を発揮し開かれた学校づくりを推進する。

- ・リーディングスタッフに対する相談支援実施校のアンケート、肯定的意見が100%だった。
- ・ミマモルメで情報を発信している。欠席連絡については、保護者、教職員とも昨年度より活用が進んだ。

<質問・意見等>

委員)

- ・センター的機能のリーディングスタッフの活動について。経験の浅い教員が、配慮が必要な児童の対応に困っている。支援学校だからこそそのノウハウをアドバイスいただける本活動が充実していくことは、ありがたいと思う。
- ・ミマモルメについて。欠席連絡がミマモルメになったことで、便利になった反面、保護者とのコミュニケーションが薄れてしまった部分もあると感じる。電話で保護者の声を聞くことで分かることもあり、経験の浅い教員が保護者とのコミュニケーションを学ぶ機会が、より少なくなったと危惧している。

事務局)

支援学校は連絡帳でコミュニケーションを取れている部分もあるかと思う。本校も若い教員が増えているので、その点は同じ課題である。

委員)

- ・どういふかたちで、教育と福祉をつなげていけるか。学校計画に福祉との連携をあげていただければ。
- ・ケース会議に対して、その招集を誰がして、誰が司会をして、誰が参加して、などのマニュアルがあればよいと考えている。
- ・他校では18歳以上の生徒が卒業する前に、本人、保護者、居住区の福祉担当、基幹相談支援センターの担当で福祉懇談会を行っている。

委員)

- ・職員が若くなっていることもあり、人権研修の必要性を感じている。人権意識を高めるということについて、研修の内容等で何か良かったものがあれば教えていただきたい。教員と職員と一緒に研修を受けることもいいなと感じている。

委員)

- ・学校間交流は良いものだと感じている。今後もお願いしたい。
- ・若手の教員が支援学校の授業をみるという交流があっても良いと感じた。

以上を説明し、承認された。

(2)令和6年度 学校経営計画(めざす学校像及び中期的目標について)

めざす学校像は学校運営の根幹の部分であり、中期的目標については3年間の最終年でもあるため、変更なしで次年度の計画を立てた。

ただし以前、意見をいただいた福祉との連携については、3の(4)に反映させた。

具体的な取組計画・内容については、この内容を記載して教育庁に報告している。来年度の第一回学校運営協議会で改めて提案する。

以上を説明し、承認された。

(3)学校教育自己診断結果と分析について(大場首席)

- ・児童生徒分について…家庭に持ち帰りアンケートを実施したため、回収率は下がっているが、児童生徒のリアルな声が反映されているかと思う。交流に関しては肯定的回答が増えている。
- ・教職員分について…今年度の重点課題については肯定的意見が増えている。働き方改革に関する項目について、具体的な文言でアンケートを実施したこともあり、肯定的意見が増えている。
- ・防災に関する項目について、次年度の重点課題として中期的目標に加える。2月の学年会で意見・案を募り、次回の職員会議で共有する。

(4)令和5年度レインボープロジェクト成果報告について(村上首席)

2年前から立ち上げているプロジェクト。文科省から派遣された講師による研修時のスライドを使用している報告。

来年度までのプロジェクトで、分掌とは切り離していることでスピード感をもって取り組めているため、さらに校内のICT環境を整えていきたい。

(5)その他

意見書の提出がなかったことの報告(末吉教頭)